

「世界一 幸せな企業グループ」を目指して

創業60周年の節目の年となる2020年を迎え、私たちが掲げるのは『わが家』を世界一 幸せな場所にする」というグローバルビジョンです。このビジョンを実現する為にはまず、「社員が幸せでなければならない」と考えています。

積水ハウスグループの企業理念の根本哲学は「人間愛」です。この企業理念を拠り所に、お客様はもちろん、取引先や従業員の幸せも実現することを使命としています。そして、その原動力が女性や多様な人財の活躍なのです。多様性を認め、受け入れるからこそ、そこには異なる意見やアイデアが芽生え、活発なコミュニケーションから新しいイノベーションが生まれます。誰もがその能力を最大限に発揮することで、人も組織も、さらに成長できる。それが、積水ハウスのダイバーシティ&インクルージョンです。今後も、積水ハウスは経営戦略として、ダイバーシティの推進をすすめていきます。



□ダイバーシティ推進の取り組み

2006年に「**人材サステナビリティ**」を宣言

【ダイバーシティ推進方針の3つの柱】

女性活躍の推進

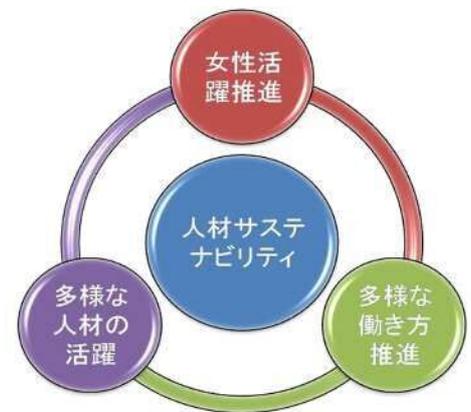
- ・管理職候補者研修「積水ハウスウィメンズカレッジ」
- ・職域の拡大（営業職、現場監督など）

多様な人財の活躍

- ・障がい者の働きやすい環境整備と雇用促進
- ・LGBTQの理解促進と制度整備

多様な働き方、ワーク・ライフ・バランスの推進

- ・男性育児休業（1ヶ月以上完全取得）
- ・仕事と育児、介護、治療との両立支援
- ・テレワークの促進



これらを3つの柱として、積水ハウスグループにおけるすべての多様な人財が最大限の能力を発揮し、個人と組織が持続的に成長を目指す

□社外からの評価

女性が輝く
先進企業
2017

